

令和になっても旅のお供は不変

7月16日は 駅弁の日

7月16日は「駅弁記念日」です。1885年7月16日に日本鉄道東北線(現・JR東北本線)宇都宮駅で、日本で初めての駅弁が売られたことから制定されました(但し、駅弁の起源は諸説あり)。宇都宮市の旅館「白木屋」が、竹の皮に握り飯2個とたくわんを包み、5銭で売ったそうです。当時の1銭は現在の価値で300円相当と言われているので、この駅弁は約1500円程度。弁当の内容を考えれば、かなり割高だったことが伺えます。さて、今回はそんな駅弁にスポットを当てます。



駅弁の起源あれこれ

一般的には宇都宮が起源とされる駅弁ですが、この他の説としては、1877年の梅田駅(現・大阪駅)や神戸駅、1880年の銭函駅(北海道)、1883年の熊谷駅(埼玉県)や上野駅、1884年の敦賀駅や高崎駅が挙げられますが、どれも決め手に欠く…というのが実情のようです。また、折詰としての駅弁は、1890年に姫路駅でまねき食品が発売した物が最初とされています。たいの塩焼きや伊達巻き、焼きかまぼこ、だし巻き卵など、おかずの点数も多く、幕の内弁当としてはなかなか豪華な内容だったようです。ただ、これについても諸説あり、名古屋駅では1886年に服部商店が杉の折箱を用いた弁当を8銭で売っていた…という話もあり、こちらもはっきりしない点が多いようです。

駅弁の種類はどれくらいある?

駅弁は全国津々浦々で販売されており、その数は数千種類とされていますが、現在のところ、正確な数ははっきりしていません。国鉄からJRへ民営化された頃は1200~1400種類あったそうです。コンビニエンスストアなどの台頭や過疎化など、地方では駅弁の販売を取り止めた駅もありますが、ターミナル駅では依然として多くの種類が販売されています。中には東京駅構内の「駅弁屋 祭」のように、全国のご当地駅弁を広く集めて販売している店舗もあるほど。また、駅弁と言えば、長距離列車の多いJRの駅での販売のイメージが強いかもしれませんが、観光地への有料特急列車が走る小田急電鉄や東武鉄道など、私鉄の駅で販売されているものもあり、日本の文化として根付いてきました。



秋田や青森の駅弁

かつては特急が停車する主要駅では必ずと言っていいほど存在していた駅弁も、新幹線やモータリゼーションの普及で大きく減りました。現在JRの駅で駅弁が販売されている、秋田県と青森県の駅は、新幹線停車駅である秋田駅・新青森駅・八戸駅、在来線では青森駅・弘前駅・野辺地駅・大館駅のみとなりました(筆者調べ)。かつては、花輪線の十和田南駅(鹿角市)や、横手駅、羽後本荘駅などでも販売されていた他、大曲駅や角館駅でも近年まで販売されていましたが、いずれも終売となっています。販売が残っている駅でもラインナップが大幅に減少しているのが実情です。それでも大館駅の「鶏めし」(写真下段、2014年頃撮影)は今でも全国区で根強い人気を誇り、東の大館・西の折尾(福岡県・かしわめし)と称され、東京・新宿の京王百貨店で行われる駅弁大会では売上が上位に食い込むほどです。また、秋田駅で販売されている「特製牛めし」は1902年の秋田駅開業時から販売されている超ロングセラー商品で、甘辛のタレが美味で、思い出だけでよだれが出てくるような逸品です。

全国で人気! 特徴的な駅弁

前述の通り、全国には色々な駅弁があり、各社が個性を競い合うような特徴的な駅弁も数多くあります。

★仙台駅「網焼き牛たん弁当」…言わずもがな東北民にとってはメジャーな駅弁の一つですね。ひもをひっぱると熱々な牛タンが食べられることでお馴染み。発売から30年以上経ちます。温かくなることはよく知られたところですが、実は1枚1枚網焼きされた牛タンが載っているのはご存知でしたか?

★神奈川県「小鰯押寿司」「鰯の押寿司」…神奈川県内の東海道線沿いで人気なのが鰯の押し寿司です。数社から出ており、特に歴史が古いのが東華軒の「小鰯押寿司」。国府津駅で1903年に発売され、お土産品としても人気で、お酒のアテにもぴったり。現在は近隣の小田原駅などでも販売されています。また、鎌倉周辺では大船軒の「鰯の押寿司」も人気。1913年から売られている逸品で、大船駅などで販売されています。

★西明石駅「ひっぱりだこ飯」…容器が再利用できる駅弁も各地にあります。群馬県横川駅の「峠の釜めし」と並び、陶器製で人気が高いのがこちら。秋田県内でも、スーパーの駅弁販売などで並ぶ機会があり、見かけたことがある方もいるのでは? もちろん、弁当そのものも美味しいです。明石名産でもあるたこがゴロゴロと入っていて、食べ応えがあります。底まで食べると練り物のたこ天が出てくるのも人気のポイントです。

仲社長が行く! 突撃!!隣のお客様



由利本荘市矢島町・マシンクリエーション株式会社
代表取締役社長 佐藤英行 様

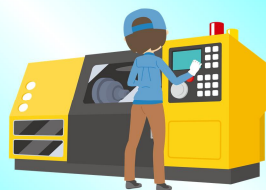
今回は由利本荘市矢島町のマシンクリエーション株式会社・佐藤英行社長にお話を伺いました。マシンクリエーションは、社長を含む従業員3名という小規模な会社ですが、ベテラン作業者が腕を奮って加工を行っており、できあがった製品には定評があります。旋盤加工とフライス加工を得意

としています。そんな周囲からの信頼も厚い佐藤英行社長ですが、創業してまもなく大不況に見舞われます。それが平成20年8月に発生した「リーマン・ショック」。同業他社で長らく営業畑を歩み、ノウハウやパイプはあったものの、どこに行っても仕事が無く、大変苦労したそうです。それを乗り越えて今年で創業から18年が経ちました。まもなく迎える20周年を前に、現在では県内外から多くの仕事を請け負い、忙しい日々を送られているんだそうです。周囲への感謝を忘れない佐藤英行社長、貴重なお時間ありがとうございました。



マシンクリエーション(株) 本社工場

■マシンクリエーション株式会社…平成20年創業、資本金300万円、社長は佐藤英行氏。秋田県由利本荘市矢島町七日町字熊之堂94。従業員は佐藤社長の他にベテランの機械工が2名在籍。主にNC旋盤やNCフライスを使った金属製品の加工を行っている。



KYOCERA 京セラフェアin秋田

2026年7月16・17日開催



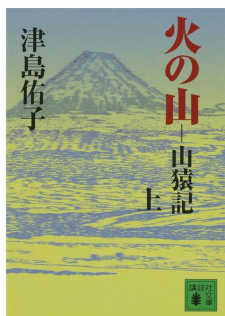
場 所
協同組合秋田卸センター
秋田市卸町3丁目6番3号
日 時
7月16日(木) 10:00～16:00
7月17日(金) 10:00～15:00

毎回大好評の「京セラフェアin秋田」が今年も開催されます。今回も秋田市卸団地に京セラの電動工具・DIY用品が大集結。今話題のLシリーズをはじめ、会場限定の特価商品も多数ご用意しておりますので、是非この機会にお越し下さい。現在入場チケットとなるチラシを配付しております。ご用命は各営業担当まで。

北東北・イベントあれこれ 2026/7



■4・5日 青森・十和田市/とわだまるっとフェス
「健康で安心・安全なまちづくり」をテーマに、地元グルメやステージを楽しめる青森県十和田市の夏のイベント。
■12日 岩手・一関市/三社祭
長徳寺に祀られている、天神社・祇園社・熊野社「三社合祀社殿」の例祭。心安らく祈りの祭典が催されている。
■25日 三種町/みたねサンドクラフト2026
釜谷浜の砂像のイベント。日中のステージショーから夜の花火ショーまで多彩なアクティビティが満載。



読書家・仲社長がオススメ! BookWatcher

火の山 山猿記

津島佑子著、講談社文庫刊 2006年発売
上巻945円 下巻880円(税込/現在は電子書籍版のみ)

今回は『火の山 山猿記』を紹介します。津島佑子(つしま ゆうこ) 著書、谷崎潤一郎賞・野間文芸賞受賞作です。かなり前の宮崎あおいさん主演のNHK連続テレビ小説『純情きらり』の原案です。著者の津島佑子さんは太宰治の次女で、ご自身の母方の実家をモデルに、富士山のふもと・甲府で生きた一族の激動の歴史を描いています。

あらすじ

タイトルの「火の山」とは、一族が常に見上げて生きてきた「富士山」のこと。物語は、アメリカ育ちの娘が、かつて山梨県甲府市に生きた先祖「有森家」の膨大な日記や書簡、回想録を読み解いていく形で進みます。

明治時代、甲府の村から東京帝国大学へ進み、地質学者となった有森源一郎。彼は富士山の地質研究の権威であり、子供たちに当時としては珍しいほど自由でリベラルな教育を施します。源一郎を中心に、長男の山太郎、三女の笛子(著者の母・美知子モデル)、未っ子の勇太郎など、個性豊かな8人のきょうだいたちは、富士山の雄大な自然に見守られながら、音楽や芸術を愛する賑やかな大家族として育ちます。

やがて時代は大正から昭和へと移り変わり、きょうだいたちもそれぞれの人生を歩み始めます。そんな中、有森家に大きな波紋を呼んだのが、芸術家肌の登場人物たちです。特に、太宰治を彷彿とさせる無頼な芸術家の杉冬吾との交流や、愛憎、結婚、そして突然の「死」が、一族の絆を揺さぶっていきます。希望に満ちていた大家族に、一人、また一人と別れの時が訪れます。

太平洋戦争の勃発により、有森家も時代の荒波に完全に巻き込まれます。激しい空襲、大切な人の出征と戦死。甲府の街が焼け野原になる中、未っ子の勇太郎をはじめとする生き残った者たちは、極限状態の中で必死に命を繋ぎ止めようとします。どんなに人間社会が戦争で狂わされ、血が流されようと、窓の外には変わらずに超然とそびえ立つ「火の山(富士山)」がありました。

戦後、生き残った有森家の人々は、深い喪失感を抱えながらも、それぞれの場所で新しい時代を生き始めます。数十年後、彼らが残した膨大な「文字の記録」を子孫が現代で読み解くことで、戦争や震災、時代の荒波に揉まれて消えていった名もなき人々の生きた証が、富士山という悠久の自然の時間軸とともに、鮮やかに蘇ります。なぜ「山猿記」なのか…作中では、自然の象徴、あるいは近代化に取り残された人間の風景として「猿」の存在が象徴的に描かれます。自然を畏れ、時に野生的に生きる人間の営みが込められたタイトルです。ぜひ、皆さんもご一読下さい。



ちょっと一杯! もう一杯!! ペロペロ通信

山口県下関市 長州酒造

天美 純米吟醸うすにごり生原酒(桃天)

原料:山田錦 精米歩合:60% 酵母:901号
日本酒度・酸度:- アルコール:15%



今回は山口県下関市の「天美」を紹介します。長州酒造のある菊川地区は平成の大合併で下関市に編入された、山間の町です。1871年に創業した歴史のある蔵で、当初は兎玉酒造が「長門菊川」という銘柄で醸造を行っていましたが、高齢化で酒造りができなくなりました。そこへ事業承継を行う会社が現れ、「長州酒造」として今に至ります。但し、承継時点で酒造りを止めていたため、ほぼゼロからのスタートとなりました。今回の桃天は春のお酒で、同社でも一二を争う人気酒なんだとか。果実のような香りと甘みがあり、ガス感が感じられる1本です。味が濃いめの料理によく合い、和食に限らず、洋食や中華とのペアリングもなかなかでした。720ml 1,980円(税込)。

編集後記

アメリカとイランの戦闘がようやく終結しました。原油調達に乱れが出た影響は大きく、家庭生活でも大変だった方も多いのではないのでしょうか。機械油やケミカル製品、手袋などの入荷が遅れ、皆さんには大変ご迷惑をおかけしましたが、物流も回復基調です。ただ、値上げされたものが多く、心苦しい状況です。何卒ご容赦頂きますようお願い致します。

仲社長のグルメ情報 湯上市 ぱんり



今回は国道7号線沿い、湯上市道分の「ぱんり」を紹介いたします。「安くお腹いっぱいになれる、ガテン系・サラリーマンの味方」なお店です。この日は「本日のおすすめランチ」(辛味噌ラーメンとチャーハン、880円)を食べました。ラーメンはピリ辛のネ

ギがたっぷり乗った一杯で、結構汗が吹き出て刺激が強いです。また、半チャーハンはほぼ一人前の量。大食漢の方でも満足できるボリュームなうえに、パラパラでクオリティも非常に高いです。厨房から聞こえる中華鍋を振る音も食欲をそそります。一緒に同行した熊谷くんはラーメンもチャーハンも両方とも大盛りしていました…食い過ぎだろう…



三栄機械器具株式会社

〒010-0065 秋田県秋田市茨島2-9-35
TEL 018-862-3105 FAX 018-863-0924

企画・編集 佐々木隆貴

三栄機械器具 検索